

令和 6 年度(2024 年度)小中高生の外務省訪問
(12 月分)

令和 7 年 1 月 9 日(令和 7 年 4 月 9 日更新)

●東京都 かえつ有明中・高等学校(令和 6 年 12 月 6 日)

講 師: 深堀裕賢 外務省研修所 外務事務官

開 催 形 式: 対面



●東京都 私立工学院大学附属高等学校(令和 6 年 12 月 10 日)

講 師: 山本葉月 大臣官房報道課 事務官

開 催 形 式: 対面



●山口県 県立宇部高等学校(令和 6 年 12 月 11 日)

講師: 梶本優 南部アジア部南西アジア課 課長補佐

開催形式: 対面



●東京都 私立工学院大学附属高等学校(令和 6 年 12 月 16 日)

講師: 山崎太 大臣官房在外公館課在外勤務支援室 課長補佐

開催形式: 対面



●東京都 私立鷗友学園女子中学高等学校(令和6年12月17日)

講 師: 野々村海太郎 在中国大使館 公使

浅見麻紀子 在中国大使館 参事官

開 催 形 式: ハイブリッド(対面・オンライン併用)



●大阪府 私立関西学院千里国際高等部(令和6年12月19日)

講 師: 谷修造 大臣官房通信課 主査

開 催 形 式: 対面



●東京都 私立芝中学校・芝高等学校(令和6年12月19日)

講師: 浦島勝輝 欧州局西欧課 主査

開催形式: 対面



参加生徒からの感想(抜粋)

- 外務大臣が実際に記者会見で使っている演台に立ったり、国際会議室で使用されている席に座ってマイクで発言することができたりと、とても貴重な経験ができた。
- 職員の話を通じて、国内にいながら海外との交流を感じることができた。実体験をもとにした話は活字よりも「生」を感じられとても興味を持つことができた。
- 国をまたいで働く職員から貴重な話を聞くことができた。通訳の仕事では、やりがい、語学力だけではなく通訳をする上で必要なスキルについて学ぶことができた。
- 外務省訪問を通じて、短い時間だったけれども、外務省の一員になれた気がした。1日でも良いので外務省に体験入省して仕事をしてみたいと思った。

先生からの感想(抜粋)

- 実際に外務省を訪問し、その空気感を味わえたことは生徒達にとり大きな収穫になった。
- 職員のエピソードは具体的で学生時代にやっておきたいことや、やるべきことが分かり、生徒も興味深く聞いていた。大人の教員にとっても充実した時間となった。